

大学等名：東京外国語大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

東京外国語大学（TUFS）は、3ポリシーに基づき世界の言語・文化・社会に関する教育を実践し、優秀な「多言語グローバル人材」を数多く社会に送り出している。しかしながら学生が学ぶ専門分野は多様であり、修得した言語能力にも差がある。また留学を含む学外での学修履歴は成績証明書などに十分に反映されていなかった。この状況を踏まえ、本事業は、言語力、専門力、行動・発信力のそれぞれに関し、卒業時の達成度を客観的な指標で示し、就職活動の際には「学修活動履歴書」を、卒業時には「TUFS ディプロマ・サプリメント」を発行することに取り組んできた。これは、在学中の学生に対するeポートフォリオ「TUFS Record（通称：たふれこ）」の最終形として編集される。在学生は、各自の能力の開発を、「TUFS Record」で確認することができるよう整備を進めた。本事業の推進にあたっては、本学の教育に関わる外部有識者からなる「TUFS教育改革会議」を発足させ、十分な意見聴取の上、事業内容に反映させる。

東京外大の教育改革

語学力・専門力の達成度可視化

- H19-24 最適化教育プログラム(特別経費)
- H25-27 e-Learning 教育システムの開発と教育の高度化(特別経費)
- H28 World Language Center発足

主体的学びと行動力の育成

- H16- 学生ボランティア活動支援の取組み、ボランティア活動スペースVOLASへ
- H26- スーパーグローバル大学創成事業(留学支援)
- H26 留学支援共同利用センター発足
- H27 TUFSクォーター制の導入

ポリシーの見直し

「5つの力」 ディプロマ・ポリシー

- ① 高度な言語運用能力
- ② 専攻する地域についての知識・理解
- ③ 現代社会を生きる力
- ④ 専門的な学問分野についての知識・理解
- ⑤ 主体的に考え、行動し、発信する力

取組
1

1~4年

ポートフォリオ改善・整備

取組
2

卒業にむけ

「ディプロマ・サプリメント」発行

言語運用能力

- ◆ 英語 (TOEIC, TOEFL, IELTS etc.)
- ◆ 専攻する言語 (CEFR-J)
- ◆ 習得したその他の言語 (CEFR-J)

行動・発信力

- ◆ 留学
- ◆ インターンシップ
- ◆ ボランティア
- ◆ その他の活動
- ◆ 社会人力外部試験

専門力

- ◆ 専門分野GPA
- ◆ 卒業論文・卒業研究

省察

- ◆ 学期ごとの目標設定
- ◆ 学期後の省察

TUFS
ディプロマ・サプリメント

言語運用能力の証明

専門力の証明

行動・発信力の証明

【事業の成果】

	28年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
学生の授業外学修時間 (1週間当たり)	6.5時間	14時間	7.3時間
卒業生追跡調査の実施率 (調査回答者数/卒業生数)	20.1%	80%	27.7%
言語能力の被判定者の割合 ※卒業時に、入学時に選択した地域言語の達成度を OEFR-J基準により判定されているものの割合	11.6%	100%	98.5%

本事業の実施により期待される成果

- ・ 本学卒業生への「質保証」の実現
- ・ 3ポリシーを柱にした教育の点検体制構築
- ・ 本学の「多言語グローバル人材」養成力の向上
- ・ 多言語の語学力指標の利用支援
- ・ 学生「質保証」基準の社会への提示